



誰が10まで  
数えられる？

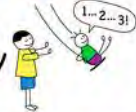
アティエノ・ガートルード  
サリム・カサンバ

日本語：Chisa



幼児期からの  
おうち算数

Early  
Family  
Math



Interactive Story

日本語

# 保護者の方へ

3つのレベル お子さんに合ったレベルを選びましょう。質問やコメントをする時には考える時間を与えましょう。お子さんが答えに詰まった時は手助けをし、正しい答えには少し膨らませた質問やコメントをしてみましょう。

レベル**1** 簡単に直接的な質問をします。見えるものについて尋ねたり指をさしたりしましょう。おもちゃはどこかな？何をしているのかな？その名前は何かな？色は何かな？いくつボールがあるかな？

レベル**2** お話のある部分について一般的な質問または自由に答えられる質問をしてみましょう。ここで何が起きていると思う？この物の仲間は何かな？

レベル**3** お話の筋について質問をしてみましょう。何が起こったのかな？次はどうなるかな？これと似たようなことが前にあったかな？この時、この子はどう感じているかな？

算数のテーマと単語 このお話には、数え方、比較、問題解決が出てきます。練習する単語：10までの数、飛ばし計算、2、3、4、5、10で数える、奇数、もっと、差、足し算、組み合わせ、合計、縞模様、斑点、大きい、最大、速い、最速、強い、最強、大きい最大、高い、より高い、パターン、問題解決。

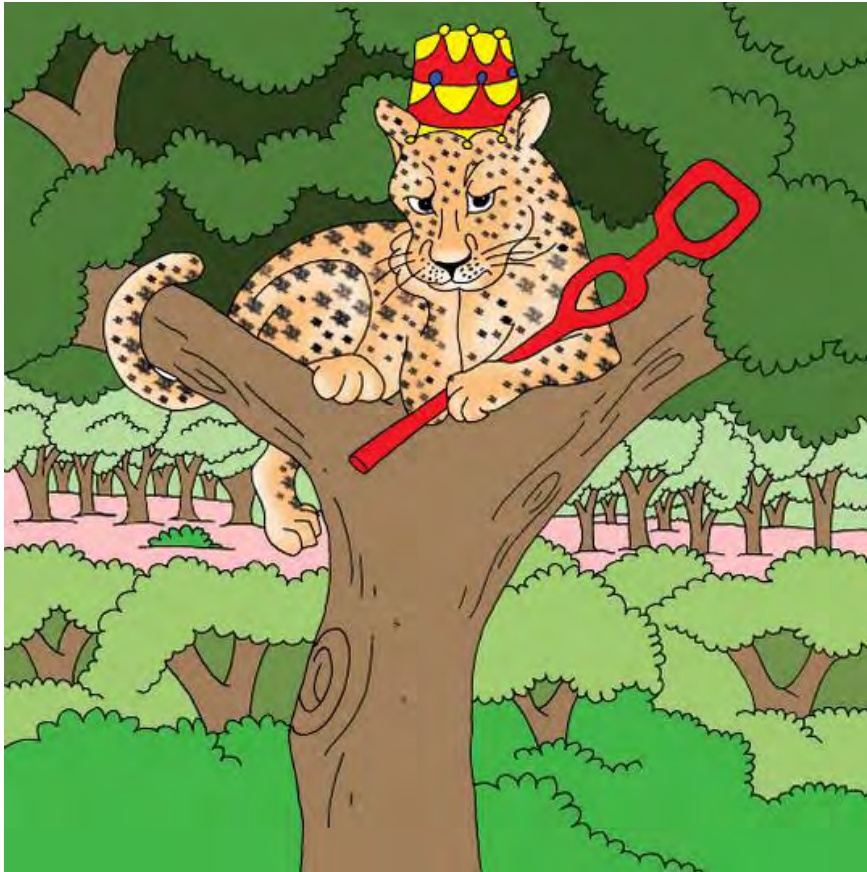
楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



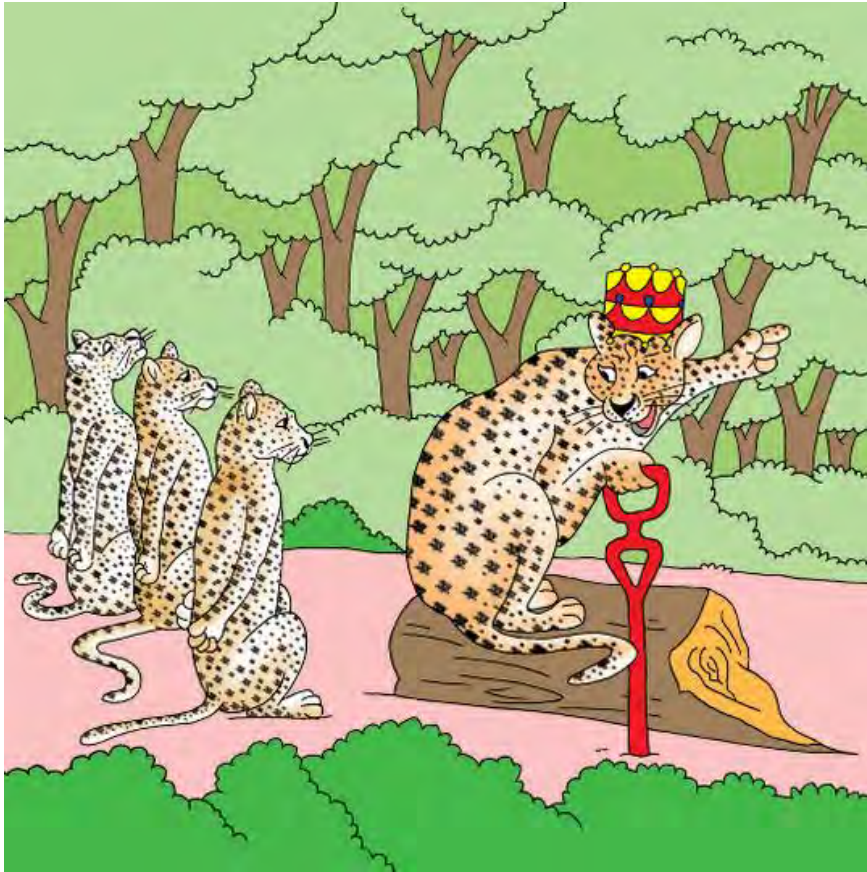
昔森の奥深くでヒョウの王は未来について考え始めました。

"私は年老いていつか死ぬだろう。賢い統治者は、若くて健康なうちに後継者を選ぶべきだ。"と思いました。

しかし、ヒョウの王はどうやって選べばいいのでしょうか？ヒョウの王は全ての動物を同じように愛していたのですから。

1. もしあなたがリーダーを選ぶとしたら、どのような能力を持っていたほしいですか？
2. ヒョウの王が後継者に何を求めますか？一番大きい動物、一番速い動物、一番友好的な動物、どれを選ぶと思いますか？
3. 見える木の幹を全部数えてみて下さい。そんなにたくさん数えられますか？





ヒョウの王には考えがありました。ヒョウの王は使者を森に送りました。彼は王国のすべての動物に、宮殿に来るように頼みました。

彼は大きなパーティーを開き、重要な発表をしようとしていました。

使者たちは森の四隅へと走り去りました。

1. 王様には何人の使者がいますか？四隅に行くのに足りますか？あと何人必要ですか？
2. 森には本当に四隅があるのでしょうか？
3. "森の四隅"とはどういう意味ですか？森に四隅がないとしたら、森はどんな形をしていますか？



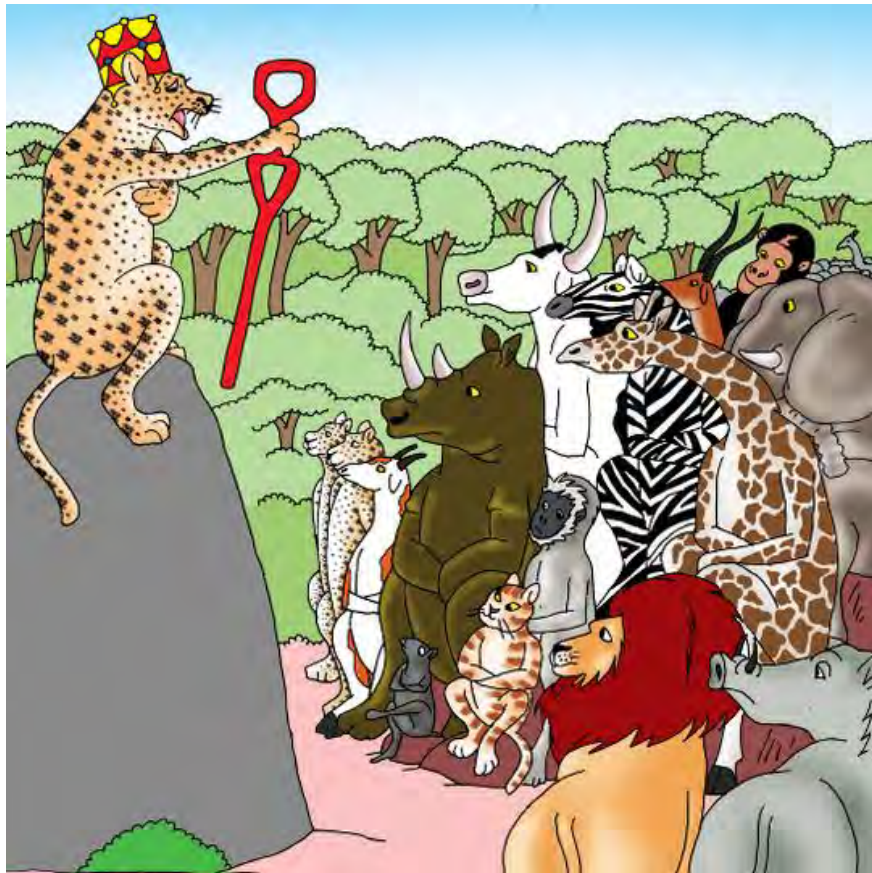
パーティーの夜、動物たちはみんな宮殿に集まりました。動物たちは歌い、踊り、楽しい時を過ごしました。

月が木々の上に昇った後、ヒョウの王がやって来て、空き地の真ん中に立ちました。動物たちは歌と踊りをやめました。彼らは王様が話し始めると、動物たちは静かに耳を傾けました。

1. この絵の中に動物は何匹いますか？動物が多いのでしょうか、それとも木が多いのでしょうか？

2. 森には何匹の動物がいますか？10、20、30...？森には通常、何百、何千という動物がいますので、とても大きな集まりになります！

3. 人間以外の動物が踊っているのを見たことがありますか？



彼は咳払いをして、次のように言いました。"そろそろ後継者を決めないといけないと思ってたんだ。でも、みんなを平等に愛しているから、誰が一番ふさわしいか決められない。だから、コンテストで決めることにしたんだ"。

1. これらの動物の何匹かは、通常、他の動物の何匹かを狩るでしょう。この絵の中で、狩りをする動物とされる例がいくつか思い浮かびますか？

2. 後継者を選ぶにはどのようなコンテストがいいでしょうか？誰が一番速く走れるか、誰が一番長く走れるかを競うレースはありますか？

3. 最大または最強を見つけたい場合は、どんなコンテストがいいでしょうか？





ヒョウの王は槍を構えました。彼は言いました。"この槍を空に投げて地面に着くまでに10数えることができた者が私の後継者となる。"

1. このコンテストで良い後継者が見つかるでしょうか？どの動物が勝つか予想してみてください。

2. 動物の皮には縞模様があるもの、斑点があるもの、体節があるもの、単色のものがあります。2色以上あるものはありますか？

3. 角、角、牙のある動物は何匹いますか？これらの動物はこのページの他の動物より多いですか？



ヒョウの王が話し終わると、動物たちは後ろから大きな物音を聞きました。振り向くと、ゾウが群衆を踏み分けて前へ出てくるのが見えました。

"邪魔だ。私が一番大きいのだから、私が王になるべきだ。"とゾウは言いました。

1. ゾウは王様の言うことを聞いたのでしょうか？王様にとって最大であることは重要だったのでしょうか？

2. こうあるべきだという自分の考えがあるとき、私たちは人の話を聞かないことがあります。ゾウのように人の話をよく聞かなかったことがありますか？

3. ライオンはよくジャングルの王様と呼ばれます。ライオンはこのコンテストに勝って、次の王様になると思いますか？





ゾウは槍を取り、鼻で持ち上げました。彼は頭を後ろに下げ、槍を空に向かって投げました。"1！2！3！ああ！"ゾウは叫びました。

槍は3つ数えると地面に落ちました。ゾウは怒って踏みつけ始めました。ヒョウの王はゾウに言いました。"君にはチャンスがあった。"

それでゾウはその場をは立ち去らなければなりませんでした。

1. 負けたときに怒るのは役に立ちますか？  
負けたとき、あなたは感じて、人に見せますか？

2. この絵には4本足の動物がたくさんいます。四本足でない動物の名前をいくつか挙げて下さい。

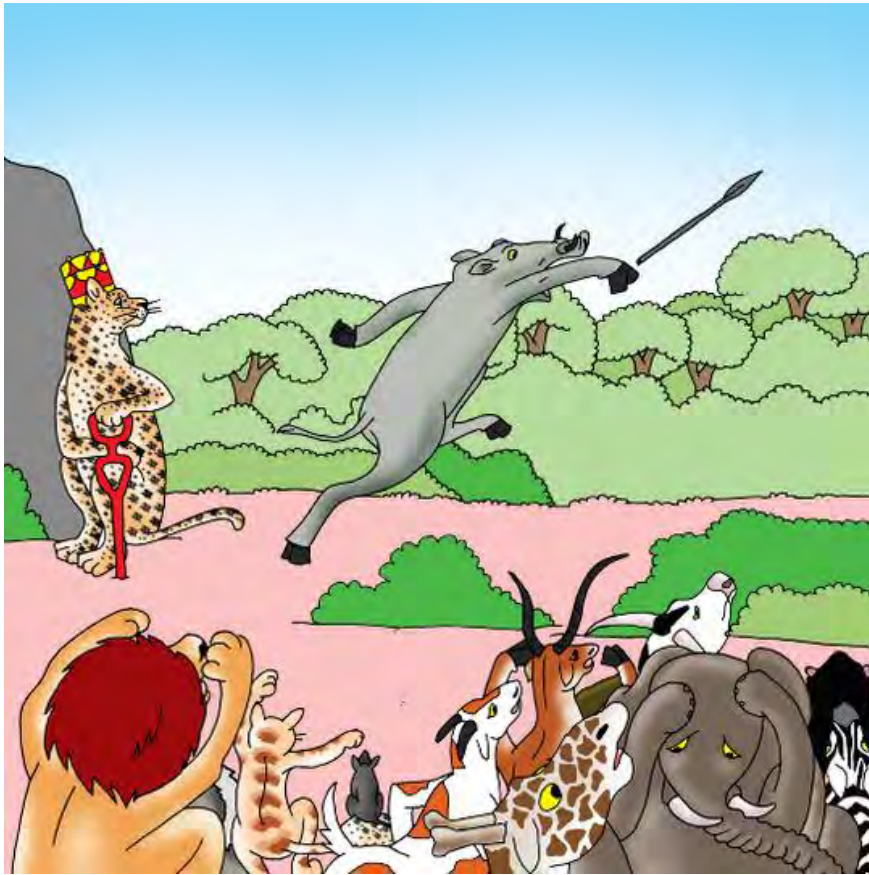
3. 奇数は2等分できない数のことで、7がその例です。手足が奇数の動物はいますか？



ゾウが去った後、動物たちは興奮して話し始めました。彼らは群衆の後ろから聞こえてくる大きな物音に再び動揺しました。

イノシシが"邪魔だ、邪魔だ。"と言って突進してきました。"俺が王になるんだ。俺の筋肉が一番大きい。俺が一番強いんだ。俺が王になるんだ。"

1. イノシシも王様の言うことを聞きませんでした。王様は一番強い人を欲しがっていると思いますか？
2. リーダーには聞き上手であることが必要だと思いますか？
3. この絵には、ほとんどの動物が一匹しか描かれていません。複数いる動物を見つかけられますか？



"イノシシは腰をかがめ、槍を握りしめて空に投げました。"1！2！3！4！5！ああ！"と彼は叫びました。

槍は5つ数えたところで落ちました。彼はとても怒っていました。彼はカンカンに怒って土煙を上げました。

ヒョウは言いました。"イノシシ、おまえが投げるのは一度だけだ。イノシシはその場を立ち去りました。"

1. 負けると怒るような動物が良いリーダーになれるのでしょうか？

2. 今のところ、国王のコンテストは質が低いリーダーを排除しているようです。コンテストは成功しています！誰が勝つと思いますか？

3. 物語は時として現実と異なります。この物語はいろいろな意味でそうになっています。イノシシには指がありません！イノシシが槍を握りしめて投げられるわけがありません。他にも現実離れたところがありますか？





その後、動物たちは"このコンテストは難しい！ゾウはできなかったし、彼は本当に大きい。イノシシもできなかったし、本当に強い。誰も勝てないよ！"と言い始めました。

そのとき、群衆の後ろから別の音が聞こえてきました。動物たちは辺りを見回したとき、目を疑いました。

1. この動物たちの体勢のどこがおかしいですか？

2. 動物の数を数えてください。-ちょっと難しいですが、がんばってください。それぞれの動物には目が2つあるので、その数を2倍にして目の総数を求めます。目を2つずつ飛ばして数えることもできます。

3. 動物の数を4倍するか、4つ飛ばして数える、または目の数を2倍にして、すべての足を数えることができます！どれが一番好きですか？どうしてこうなるのでしょうか？



大きなサルが前進してくるのが見えました。サルは動きながら、"私はできる。私は知っている。私はできる。"

サルは槍を取ると、後ろに下がりました。彼は腕を引いて前進し、空中に跳んで槍を空に投げました。

"1！2！3！4！5！6！  
7！ああ！" サルは叫びました。

1. なぜサルは"私はできる？"と言い始めたのでしょうか？自信を持つことは成功に役立つことが多いです。

2. あなたの態度が大きな違いを生むことがあります！自分にはできないと自分に言い聞かせて何かを始めたことがありますか？  
— それはあなたの助けになりましたか？それとも邪魔になりましたか？

3. 槍が着地する前に、サルはイノシシの数よりもどれだけ多く数を数えられたでしょうか？



槍は7つ数えたところで地面に落ちました。

サルは怒りました。怒りのあまり、後ろを振り向いて文句を言い、いろいろな言い訳をし始めました。

しかし、ヒョウの王は"だめだ、サルよ、チャンスは一度きりだ。"と言いました。それでサルは去らざるを得ませんでした。

1. 今のところ、それを実行した動物はいません。この物語の結末を考えてください。動物が勝てる方法を考えるか、コンテストを変えるか、動物が勝てない場合にどうするかを考えます。

2. 10まで数えるのに何分かかりますか？何かを空中に投げて、10まで数えられると思いますか？

3. この絵の動物が何を感じているか、彼らの表情を使って説明して下さい。





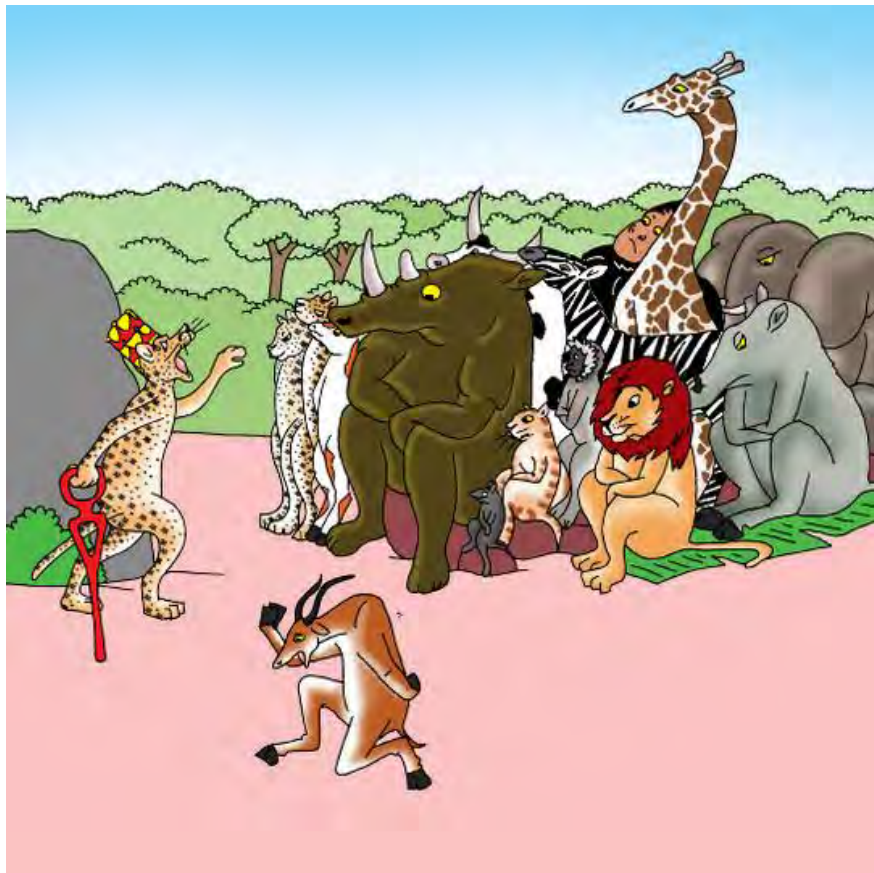
何匹かの動物が家に帰ろうとしました。そのとき、小さなカモシカが群衆のなかに入ってくるのが見えました。彼女は小走りしながら言いました。"待って待って私にやらせて。私ならできる。私ならできる。"

その言葉を聞いた動物たちは、みんな笑い出しました。

1. なぜ他の動物たちは小さなカモシカを笑ったのでしょうか？彼らは親切でしたか？

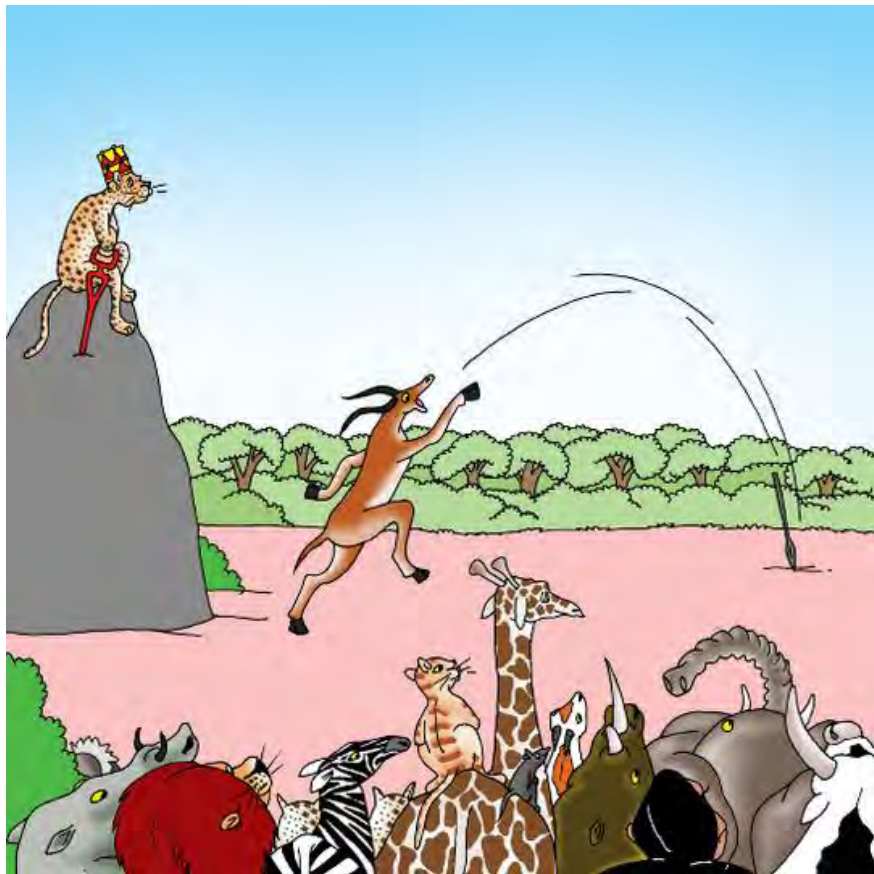
2. カモシカが持っていて、ほかの動物が持っていない特技はなんのでしょうか？

3. 誰かが誰かを笑いものにしているのを見たことがありますか？その人はどう感じましたか？



ヒョウの王は飛び上がって怒鳴りました。"やめなさい！カモシカをからかうんじゃない！大きな動物ができることを、小さな動物ができないと誰が言えるのだ？カモシカがチャンスを得たいのなら、すべての動物と同じチャンスを与えるのだ。だから後ろに下がって、カモシカに槍を投げさせてあげなさい。"

1. 驚きがありそうですね。カモシカの何に驚くと思いますか？
2. 良いリーダーはみんなの面倒を見ます。ヒョウの王はいいリーダーだと思いますか？
3. あなたの知っている良いリーダーを思い浮かべてください。その人が良いリーダーだと思う資質をいくつか挙げて下さい。

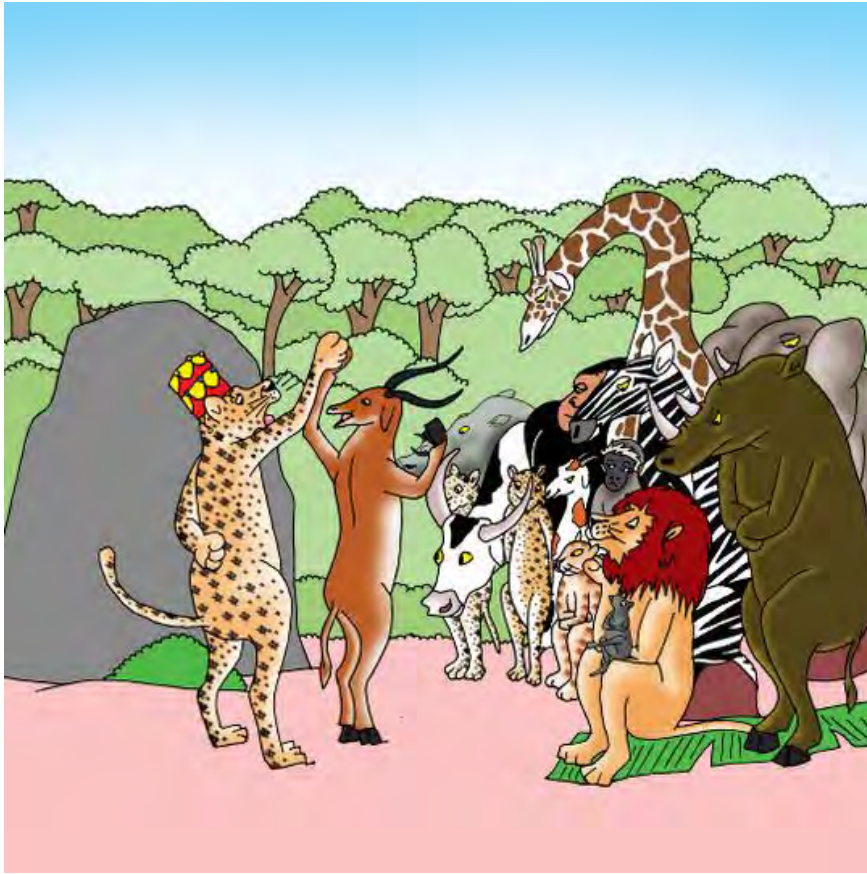


カモシカは王様にお辞儀をして振り返り、槍を口にくわえました。彼女は後ずさりして、小さな体に力をこめて走り出しました。彼女は草原の真ん中まで来ると、高くジャンプしました。

深呼吸をして槍を放すと、" $5 + 5$  は  $10$  よ。"と叫びました。槍は地面に落ちました。

1. 驚きは数学です！カモシカは知性と数学の力を使ってコンテストに勝ったのです。
2. 他にも  $10$  になる数字の組み合わせを考えてみましょう。何通り考えられますか？
3.  $3$ 、 $4$ 、 $5$  など、もっと小さい数をいくつか試してみて、それらの合計になるような数の組み合わせをすべて見つけてください。時間を節約できるパターンがあることに気づきましたか？面白いパターンを発見することが数学のすべてです！





動物たちは静かでした。彼らは混乱していました。ヒョウの王はこう説明しました。"そうだよ、カモシカ！ $5+5$ は10になる別の方法なんだ。10まで数える方法は1つではない。"

コンテストは最大の動物や最強の動物を見つけるためのものではなかったのです。最も賢い動物を見つけるコンテストだったのです。こうして、ヒョウが死んだ時、カモシカが女王になったのです。

1. カモシカはルールをよく聞いて、新しい解決策を見つけました。カモシカは不正をしたのでしょうか、それとも賢かったのでしょうか？

2. 誰かに10まで数えるように言われたら、1、2、5、10のどれで数えますか？もし3や4で数えたらどうなりますか？なぜその数は均等にならないのでしょうか？

3. 問題解決に優れた人は、新しい方法を発見します。優れた問題解決者は、問題への新しいアプローチの仕方を発見するのです。

## Who can count to ten?

Author -- AthienoGertrude and Owino Ogot

Translation -- AthienoGertrude and Owino Ogot

Illustration -- SalimKasamba

Language -- English

Level -- Longerparagraphs

© African Storybook Initiative 2017

Creative Commons: Attribution 4.0

Source [www.africanstorybook.org](http://www.africanstorybook.org)